

## 第2章 タイム・トライアル

### 【解答】

- ① 現金¥500,000 を元入れして、営業を開始した。  
資産の増加                      純資産の増加
- ② 銀行から、現金¥50,000 を借り入れた。  
資産の増加                      負債の増加
- ③ 商品¥10,000 を現金で購入した。  
資産の増加                      資産の減少
- ④ 土地¥100,000 を現金で購入した。  
資産の増加                      資産の減少
- ⑤ 商品¥20,000 を購入し、代金は月末払いとした。  
資産の増加                      負債の増加
- ⑥ 月末になり、⑤で支払ってなかった商品の代金を現金で支払った。  
負債の減少                      資産の減少
- ⑦ 給料¥8,000（費用の発生）を現金で支払った。  
費用の発生                      資産の減少
- ⑧ 商品¥10,000 を¥12,000 で販売し、代金の半分は現金で、残りは翌月受取りとした。  
資産の増加                      資産の減少  
資産の増加                      収益の発生
- ⑨ 借入金の利息¥500 が未払いになっている。  
費用の発生                      負債の増加
- ⑩ 借入金¥50,000 を、利息¥2,000 とともに現金で返済した。  
負債の減少                      資産の減少  
費用の発生

### 【解説】

この設問の中で、一番わかりにくいのは①です。ここにいう「元入れ」とは、「資本として」とか「元手として」というように解釈するとわかりやすいでしょう。なお、昔、「資本」とっていたのは、現在では「純資産」といわれます。営業を開始するときに、必ずでてくる取引です。ゼロからのスタートと考えれば、「増加」であることも理解できますよね。

### 第3章 タイム・トライアル

#### 【解答】

- ① 現金¥200,000 を元入れして、営業を開始した。
- A) 資産の増加                      純資産の増加  
B) (現金) 200,000              (資本金) 200,000
- ② 現金¥50,000 を、当座預金に預け入れた。
- A) 資産の増加                      資産の減少  
B) (当座預金) 50,000              (現金) 50,000
- ③ 商品¥30,000 を現金で仕入れた。
- A) 資産の増加                      資産の減少  
B) (商品) 30,000                      (現金) 30,000
- ④ 商品¥50,000 を掛で仕入れた。
- A) 資産の増加                      負債の増加  
B) (商品) 50,000                      (買掛金) 50,000
- ⑤ 掛で仕入れた商品のうち¥10,000 が品違いだったため返品した。
- A) 負債の減少                      資産の減少  
B) (買掛金) 10,000                      (商品) 10,000
- ⑥ 銀行から、現金¥100,000 を借り入れた。
- A) 資産の増加                      負債の増加  
B) (現金) 100,000                      (借入金) 100,000
- ⑦ 自動車¥120,000 を購入し、代金は月末払いとした。
- A) 資産の増加                      負債の増加  
B) (車両) 120,000                      (未払金) 120,000
- ⑧ 借入金の利息¥15,000 を現金で支払った。
- A) 費用の発生                      資産の減少  
B) (支払利息) 15,000                      (現金) 15,000
- ⑨ 給料¥20,000 を現金で支払った。
- A) 費用の発生                      資産の減少  
B) (給料) 20,000                      (現金) 20,000
- ⑩ 借入金のうち¥30,000 を現金で返済した。
- A) 負債の減少                      資産の減少  
B) (借入金) 30,000                      (現金) 30,000

## もう一歩前へ！

### 【転記】

現 金	
①資本金 200,000	②当座預金 50,000
⑥借入金 100,000	③商品 30,000
	⑧支払利息 15,000
	⑨給料 20,000
	⑩借入金 30,000

買 掛 金	
⑤商品 10,000	④商品 50,000

当座預金	
②現金 50,000	

借 入 金	
⑩現金 30,000	⑥現金 100,000

商 品	
③現金 30,000	⑤買掛金 10,000
④買掛金 50,000	

未 払 金	
	⑦車両 120,000

車 両	
⑦未払金 120,000	

資 本 金	
	①現金 200,000

支払利息	
⑧現金 15,000	

給 料	
⑨現金 20,000	

## 第4章 タイム・トライアル

### 【解答】

- ① 現金¥500,000 を元入れして営業を開始した。  
(現金) 500,000 (資本金) 500,000
- ② 銀行から、現金¥200,000 を借り入れた。  
(現金) 200,000 (借入金) 200,000
- ③ 商品¥100,000 を購入し、代金は現金で支払った。  
(商品) 100,000 (現金) 100,000
- ④ 上記③の商品の半分を、現金¥60,000 で販売した。  
(現金) 60,000 (商品) 50,000  
(商品売買益) 10,000
- ⑤ 備品¥70,000 を購入し、代金¥20,000 は現金で支払い、残額は月末払いとした。  
(備品) 70,000 (現金) 20,000  
(未払金) 50,000
- ⑥ 商品¥80,000 を購入し、代金の半分は現金で支払い残額は掛とした。  
(商品) 80,000 (現金) 40,000  
(買掛金) 40,000
- ⑦ 上記⑥の商品の半分を¥50,000 で販売し、代金の半分は現金で受取り残額は掛とした。  
(現金) 25,000 (商品) 40,000  
(売掛金) 25,000 (商品売買益) 10,000
- ⑧ 上記⑥の買掛金を、現金で支払った。  
(買掛金) 40,000 (現金) 40,000
- ⑨ 上記⑦の売掛金を、現金で回収した。  
(現金) 25,000 (売掛金) 25,000
- ⑩ 今月分の家賃 15,000 を現金で支払った。  
(支払家賃) 15,000 (現金) 15,000

## 第6章 タイム・トライアル

### 【解答】

- ① A 商店より商品¥100,000 を購入し、代金は現金で支払った。  
(商品) 100,000 (現金) 100,000
- ② B 商店より商品¥50,000 を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。  
(商品) 50,000 (当座預金) 50,000
- ③ C 商店に対する売掛金¥50,000 を、同店振出しの小切手で受け取った。  
(現金) 50,000 (売掛金) 50,000
- ④ 売掛金に対して、現金¥10,000 と郵便為替証書¥5,000 を回収した。  
(現金) 15,000 (売掛金) 15,000
- ⑤ 期中に現金勘定を調査したところ、手許現金有高が帳簿残高よりも¥2,000 少なかった。  
(現金過不足) 2,000 (現金) 2,000
- ⑥ 後日、⑤の現金不足額¥2,000 のうち、¥1,200 については通信費であったことが明らかになった。  
(通信費) 1,200 (現金過不足) 1,200
- ⑦ 決算日になっても、⑤の現金不足額¥800 の原因は不明のままなので、雑損として処理した。  
(雑損) 800 (現金過不足) 800
- ⑧ 当社は、D 銀行と当座取引契約を結び、現金¥100,000 を預け入れた。  
(当座預金) 100,000 (現金) 100,000
- ⑨ 商品¥50,000 を購入し、小切手を振り出して支払った。なお、当座預金残高は¥40,000 であり、取引銀行とは¥50,000 の当座預金契約を結んでいる。  
(商品) 50,000 (当座預金) 40,000  
(当座借越) 10,000
- ⑩ 後日、⑨の当座借越を返済するために、当座預金に現金¥70,000 を預け入れた。  
(当座借越) 10,000 (現金) 70,000  
(当座預金) 60,000



(ii) 修正記入欄に⑦の仕訳を記入します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	93,000							
現金過不足	800			800				
当座預金	70,000							
雑損			800					

(iii) 残高試算表欄の金額に修正記入欄の修正金額を加味し、最終的に B/S 欄に移動させます。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	93,000						93,000	
現金過不足	800			800				
当座預金	70,000						70,000	
雑損			800					

(iv) 修正記入欄の雑損は、そのまま P/L 欄に移動です。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	93,000						93,000	
現金過不足	800			800				
当座預金	70,000						70,000	
雑損			800		800			

## 第7章 タイム・トライアル

### 【解答】

- ① A 商店から、商品¥60,000 を掛で仕入れた(商品勘定で処理すること)。  
(商品) 60,000 (買掛金) 60,000
- ② B 商店へ、上記①の商品すべてを¥70,000 で掛販売した。  
(売掛金) 70,000 (商品) 60,000  
(商品売買益) 10,000
- ③ 上記②の売掛金のうち、¥20,000 を現金で回収した。  
(現金) 20,000 (売掛金) 20,000
- ④ 上記①の買掛金のうち、¥30,000 を小切手を振出して支払った。  
(買掛金) 30,000 (当座預金) 30,000
- ⑤ C 商店に現金¥100,000 を貸付け、借用証書を受け取った。  
(貸付金) 100,000 (現金) 100,000
- ⑥ 取引銀行より、2年の約束で設備投資のための資金¥300,000 を現金で借り入れた。  
(現金) 300,000 (借入金) 300,000
- ⑦ 従業員の出張に際し、¥80,000 を現金で仮払いした。  
(仮払金) 80,000 (現金) 80,000
- ⑧ 上記⑦の従業員が出張から戻り、旅費の精算を行ったところ¥78,000 であった。  
(旅費) 78,000 (仮払金) 80,000  
(現金) 2,000
- ⑨ 従業員の出張先より、当座預金への入金¥50,000 があったが、理由は不明である。  
(当座預金) 50,000 (仮受金) 50,000
- ⑩ 従業員が出張から戻り、⑨の当座預金の入金は B 商店の売掛金の回収であることが判明した。  
(仮受金) 50,000 (売掛金) 50,000

## ズーム・アップ

### A) 転記

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">現 金</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">③売掛金 20,000</td> <td style="width: 50%;">⑤貸付金 100,000</td> </tr> <tr> <td>⑥借入金 300,000</td> <td>⑦仮払金 80,000</td> </tr> <tr> <td>⑧仮払金 2,000</td> <td></td> </tr> </table>	現 金		③売掛金 20,000	⑤貸付金 100,000	⑥借入金 300,000	⑦仮払金 80,000	⑧仮払金 2,000		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">当座預金</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">⑨仮受金 50,000</td> <td style="width: 50%;">④買掛金 30,000</td> </tr> </table>	当座預金		⑨仮受金 50,000	④買掛金 30,000
現 金													
③売掛金 20,000	⑤貸付金 100,000												
⑥借入金 300,000	⑦仮払金 80,000												
⑧仮払金 2,000													
当座預金													
⑨仮受金 50,000	④買掛金 30,000												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">商 品</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">② 買掛金 60,000</td> <td style="width: 50%;">②売掛金 60,000</td> </tr> </table>	商 品		② 買掛金 60,000	②売掛金 60,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">売掛金</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">前期繰越 60,000</td> <td style="width: 50%;">③現金 20,000</td> </tr> <tr> <td>②諸口 70,000</td> <td>⑩仮受金 50,000</td> </tr> </table>	売掛金		前期繰越 60,000	③現金 20,000	②諸口 70,000	⑩仮受金 50,000		
商 品													
② 買掛金 60,000	②売掛金 60,000												
売掛金													
前期繰越 60,000	③現金 20,000												
②諸口 70,000	⑩仮受金 50,000												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">貸 付 金</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">⑤現金 100,000</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>	貸 付 金		⑤現金 100,000		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">仮 払 金</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">⑦現金 80,000</td> <td style="width: 50%;">⑧諸口 80,000</td> </tr> </table>	仮 払 金		⑦現金 80,000	⑧諸口 80,000				
貸 付 金													
⑤現金 100,000													
仮 払 金													
⑦現金 80,000	⑧諸口 80,000												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">買 掛 金</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">④当座預金 30,000</td> <td style="width: 50%;">①商品 60,000</td> </tr> </table>	買 掛 金		④当座預金 30,000	①商品 60,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">借 入 金</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;">⑥現金 300,000</td> </tr> </table>	借 入 金			⑥現金 300,000				
買 掛 金													
④当座預金 30,000	①商品 60,000												
借 入 金													
	⑥現金 300,000												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">仮 受 金</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">⑩売掛金 50,000</td> <td style="width: 50%;">⑨当座預金 50,000</td> </tr> </table>	仮 受 金		⑩売掛金 50,000	⑨当座預金 50,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">商品売買益</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;">②売掛金 10,000</td> </tr> </table>	商品売買益			②売掛金 10,000				
仮 受 金													
⑩売掛金 50,000	⑨当座預金 50,000												
商品売買益													
	②売掛金 10,000												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">旅 費</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">⑧仮払金 78,000</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>	旅 費		⑧仮払金 78,000										
旅 費													
⑧仮払金 78,000													

B) 精算表作成

(i) 掛取引に関する各勘定の貸借差額を、残高試算表欄に記載します。

(ii) それ以外の債権・債務の各勘定の貸借差額を、残高試算表欄に記載します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
売掛金	60,000							
貸付金	100,000							
買掛金		30,000						
借入金		300,000						

(iii) 掛取引等に関するすべての勘定を、そのまま B/S 欄に移動させます。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
売掛金	60,000						60,000	
貸付金	100,000						100,000	
買掛金		30,000						30,000
借入金		300,000						300,000

## 第8章 タイム・トライアル

### 【解答】

- ① 商品¥30,000を仕入れ、約束手形を振出して支払った。なお、手形は取引銀行から支払うように依頼した。  
(商品) 30,000 (支払手形) 30,000
- ② 上記①の手形が、本日決済された旨の連絡が取引銀行よりあった。  
(支払手形) 30,000 (当座預金) 30,000
- ③ 商品¥60,000を売上げ、代金を約束手形で受け取った。なお、手形は取引銀行に取立を依頼した(原価は、¥50,000)。  
(受取手形) 60,000 (商品) 50,000  
(商品売買益) 10,000
- ④ 上記③の手形が、本日入金された旨の通知が取引銀行よりあった。  
(当座預金) 60,000 (受取手形) 60,000
- ⑤ A商店から商品¥30,000を仕入れ、支払いについては売掛金¥30,000のある得意先B商店あてに為替手形を振出し、B商店の引受をえてA商店へ渡した。  
(商品) 30,000 (売掛金) 30,000
- ⑥ C商店から売掛金¥30,000の支払として、B商店引受けの為替手形を受け取った。  
(受取手形) 30,000 (売掛金) 30,000
- ⑦ C商店への買掛金¥30,000の支払として、A商店への為替手形を引き受けた。  
(買掛金) 30,000 (支払手形) 30,000
- ⑧ 支払期日が到来したので、B商店に手形を提示して小切手で代金の支払いを受けた。  
(現金) 30,000 (受取手形) 30,000
- ⑨ 決算に際し、受取手形と売掛金の期末残高合計額 ¥200,000に対して2%の貸倒引当金を設定した。なお、貸倒引当金勘定の期末残高は、¥1,000である。  
(貸倒引当金繰入) 3,000 (貸倒引当金) 3,000  
 $200,000 \times 0.02 = 4,000$   
 $4,000 - 1,000 = 3,000$
- ⑩ 決算に際し、受取手形と売掛金の期末残高合計額 ¥200,000に対して2%の貸倒引当金を設定した。なお、貸倒引当金勘定の期末残高は、¥5,000である。  
(貸倒引当金) 1,000 (貸倒引当金戻入益) 1,000  
 $200,000 \times 0.02 = 4,000$   
 $5,000 - 4,000 = 1,000$

## ズーム・アップ

### A) 転記

現 金	
⑧受取手形 30,000	

当座預金	
④受取手形 60,000	②支払手形 30,000

商 品	
①支払手形 30,000	③受取手形 50,000
⑤売掛金 30,000	

売掛金	
前期繰越 160,000	⑤商品 30,000
	⑥受取手形 30,000

受取手形	
前期繰越 100,000	④当座預金 60,000
③諸口 60,000	⑧現金 30,000
⑥売掛金 30,000	

買掛金	
⑦支払手形 30,000	

支払手形	
②当座預金 30,000	①商品 30,000
	⑦買掛金 30,000

貸倒引当金	
	前期繰越 1,000
	⑨貸倒引当金繰入 3,000

商品売買益	
	③受取手形 10,000

貸倒引当金繰入	
⑨貸倒引当金 3,000	

B)精算表作成

(i) 各手形勘定と売掛金勘定の貸借差額を、残高試算表欄に記載します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取手形	100,000							
売掛金	100,000							
支払手形		30,000						
貸倒引当金		1,000						

(ii) 修正記入欄に⑨の仕訳を記入します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取手形	100,000							
売掛金	100,000							
支払手形		30,000						
貸倒引当金		1,000		3,000				
貸倒引当金繰入			3,000					

(iii)各手形勘定および売掛金勘定の残高を、B/S欄に移動させる。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取手形	100,000						100,000	
売掛金	100,000						100,000	
支払手形		30,000						30,000
貸倒引当金		1,000		3,000				
貸倒引当金繰入			3,000					

(iv)貸倒引当金勘定は、修正記入欄の金額を加味して B/S 欄に、貸倒引当金勘定は、そのまま P/L 欄に、移動させる。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取手形	100,000						100,000	
売掛金	100,000						100,000	
支払手形		30,000						30,000
貸倒引当金		1,000		3,000				4,000
貸倒引当金繰入			3,000		3,000			

## 第9章 タイム・トライアル

### 【解答】

- ① A社株式 1,000株を@¥100で購入し、手数料¥20,000とともに現金で支払った。  
(有価証券) 120,000 (現金) 120,000
- ② その後、A社株式 200株を@¥120で追加購入し、手数料¥4,800とともに小切手を振り出して支払った。  
(有価証券) 28,800 (当座預金) 28,800
- ③ その後、A社株式 900株を、@¥150で売却し、代金は現金で受け取った。  
(現金) 135,000 (有価証券) 111,600  
(有価証券売却益) 23,400
- ④ 額面 ¥100,000の社債を@¥96で購入し、代金は小切手で支払った(社債は、@¥100に対して金額が付されている)。  
(有価証券) 96,000 (当座預金) 96,000
- ⑤ 上記④の社債のうち、半分を@¥98で売却し、代金は現金で受け取った。  
(現金) 49,000 (有価証券) 48,000  
(有価証券売却益) 1,000
- ⑥ 本日は社債の利払日にあたり、社債利息 ¥8,000を現金で受け取った。  
(現金) 8,000 (有価証券利息) 8,000
- ⑦ 社債¥100,000を@¥95で購入し、手数料¥2,000とともに小切手を振り出して支払った。  
(有価証券) 97,000 (当座預金) 97,000
- ⑧ 上記⑦の利付社債¥100,000の年利率は8%で、本日、半年分の利息が現金で支払われた。  
(現金) 4,000 (有価証券利息) 4,000  
 $100,000 \times 0.08 \times 1/2 = 4,000$
- ⑨ B社株式を@¥450で200株購入し、代金は小切手を振り出して支払った。  
(有価証券) 90,000 (当座預金) 90,000
- ⑩ 決算に際し、上記⑨のB社株式の時価が@¥500に上昇した。  
(有価証券) 10,000 (有価証券評価益) 10,000



(ii) ⑩の仕訳を、修正記入欄に記入する。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
有価証券	272,200		10,000					
有価証券売却益		24,400						
有価証券利息		12,000						
有価証券評価益				10,000				

(iii)有価証券は、修正記入欄の金額を加味して B/S 欄に移動。有価証券売却益と有価証券利息は、P/L 欄へ移動。有価証券評価益は、修正記入欄から P/L 欄へ移動。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
有価証券	272,200		10,000				282,200	
有価証券売却益		24,400				24,400		
有価証券利息		12,000				12,000		
有価証券評価益				10,000		10,000		

## 第10章 タイム・トライアル

### 【解答】

- ① 商品¥100,000 を購入し、代金は小切手を振出して支払った(分記法で処理すること)。  
(商品) 100,000 (当座預金) 100,000
- ② 上記①の商品すべてを¥120,000 で販売し、代金の半分は現金で受取り、残りは掛とした。  
(現金) 60,000 (商品) 100,000  
(売掛金) 60,000 (商品販売益) 20,000
- ③ 商品¥100,000 を購入し、代金は小切手を振出して支払った(分割法で処理すること)。  
(仕入) 100,000 (当座預金) 100,000
- ④ 上記③の商品すべてを¥150,000 で掛販売した。  
(売掛金) 150,000 (売上) 150,000
- ⑤ 上記④で掛販売した商品の一部が運送中に破損して、相手会社からの申し出により¥10,000 の値引きを行った。  
(売上) 10,000 (売掛金) 10,000
- ⑥ 商品¥80,000 を掛で購入し、運送費¥3,000 を現金で支払った(分割法で処理すること)。  
(仕入) 83,000 (買掛金) 80,000  
(現金) 3,000
- ⑦ 上記⑥の商品すべてを¥110,000 で販売し、代金のうち¥50,000 は小切手で受取り、残額は掛とした。  
(現金) 50,000 (売上) 110,000  
(売掛金) 60,000
- ⑧ 商品¥75,000 を購入し、代金は掛とした(分割法で処理すること)。  
(仕入) 75,000 (買掛金) 75,000
- ⑨ 上記⑧の商品のうち¥25,000 について品違いがあり、返品した。  
(買掛金) 25,000 (仕入) 25,000
- ⑩ 決算に際し、期末商品棚卸高は¥50,000 であった(なお、残高試算表の繰越商品は、¥30,000 であった)。  
(仕入) 30,000 (繰越商品) 30,000  
(繰越商品) 50,000 (仕入) 50,000

## ズーム・アップ

### A) 転記

現 金		当座預金	
⑦売上 50,000	⑥仕入 3,000	前期繰越 180,000	③仕入 100,000
売 掛 金		繰越商品	
④売上 150,000	⑤売上 10,000	前期繰越 30,000	⑩仕入 30,000
⑦売上 60,000		⑩仕入 50,000	
買 掛 金			
⑨仕入 25,000	⑥仕入 80,000		
	⑧仕入 75,000		
売 上		仕 入	
⑤売掛金 10,000	④売掛金 150,000	③当座預金 100,000	⑨買掛金 25,000
	⑦諸口 10,000	⑥諸口 83,000	⑩繰越商品
		⑧買掛金 75,000	50,000
		⑩繰越商品 30,000	

### B) 精算表作成

(i) 商品売買に関する各勘定の貸借差額を、残高試算表欄に記載します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	30,000							
売 上		250,000						
仕 入	233,000							

(ii) ⑩を修正記入欄に記入します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	30,000		50,000	30,000				
売上		250,000						
仕入	233,000		30,000	50,000				

(iii) 繰越商品と仕入は、残高試算表欄を出発点とし、修正記入欄の金額を加味して、繰越商品は B/S 欄へ、仕入は P/L 欄へ記入します。売上は、そのまま P/L 欄に記入します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	30,000		50,000	30,000			50,000	
売上		250,000				250,000		
仕入	233,000		30,000	50,000	213,000			

## もう一歩前へ！

**問題** 次の資料に基づき、先入先出法で商品有高帳を作成しなさい。  
 なお、締切りも行うこと。

[資料]

7月1日	前月繰越	50個	@¥100	¥5,000
5日	仕入	70個	@¥110	¥7,700
12日	売上	80個	@140	¥8,400
20日	仕入	100個	@105	¥10,500
25日	売上	120個	@130	¥15,600

【解答】

### 商品有高帳

(先入先出法)

T商品

平成 ○年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
7	1 前月繰越	50	100	5,000				50	100	5,000
	5 仕入	70	110	7,700				50 70	100	5,000
									110	7,700
	12 売上				50 30	100	5,000	40	110	4,400
									110	3,300
	20 仕入	100	105	10,500				40 100	110	4,400
									105	10,500
25 売上				40 80	110	4,400	20	105	2,100	
31 次月繰越				20	105	2,100				
		220		23,200	220		23,200			
8	1 前月繰越	220	105	2,100				220	105	2,100

【解説】

- ・ 売上の単価は売価を示していますが、商品有高帳への記入は、原価で行います。
- ・ 残高欄の最後の数値は、次の払出欄の数値になり、それは次月繰越の数値になります。
- ・ 締切時の単価欄は、空白になります。
- ・ 日付欄も、締切線を記入します。

## 第11章 タイム・トライアル

### 【解答】

- ① 備品を¥200,000 で購入した。代金は現金で支払った。  
(備品) 200,000 (現金) 200,000
- ② 土地を¥600,000 で購入した。代金は仲介手数料¥30,000 とともに小切手を振り出して支払った。  
(土地) 630,000 (当座預金) 630,000
- ③ 営業用のトラックを¥280,000 で購入し、代金は小切手を振り出して支払った。登録手数料等の諸費用¥20,000 は現金で支払った。  
(車両) 300,000 (当座預金) 280,000  
(現金) 20,000
- ④ 店舗として使用するため、建物¥1,200,000 を新たに購入し、代金は小切手を振り出して支払った。仲介手数料¥150,000 と登記料¥50,000 は現金で支払った。  
(建物) 1,400,000 (当座預金) 1,200,000  
(現金) 200,000
- ⑤ 本社として使用中の建物を¥800,000 で増築し、代金は月末に支払うことにした。  
(建物) 800,000 (未払金) 800,000
- ⑥ 備品が破損し、修理のため¥65,000 を現金で支払った。  
(修繕費) 65,000 (現金) 65,000
- ⑦ 今まで使用してきた建物(取得原価 ¥1,000,000 減価償却累計額 ¥700,000)を、現金¥400,000 で売却した。  
(建物減価償却累計額) 700,000 (建物) 1,000,000  
(現金) 400,000 (固定資産売却益) 100,000
- ⑧ 決算にあたり、建物の減価償却費¥40,000 を計上する。  
(減価償却費) 40,000 (建物減価償却累計額) 40,000
- ⑨ 決算にあたり、①の備品(耐用年数8年)について、定額法で減価償却を行う。  
(減価償却費) 25,000 (備品減価償却累計額) 25,000  
 $200,000 \div 8 = 25,000$
- ⑩ 決算にあたり、③の車両(耐用年数6年)について、定額法で減価償却を行う。  
(減価償却費) 50,000 (車両減価償却累計額) 50,000  
 $300,000 \div 6 = 50,000$

## ズーム・アップ

### A) 転記

現 金				当座預金			
前期繰越	75,000	①備品	200,000	前期繰越	4,000,000	②土地	630,000
⑦諸口	400,000	③車両	20,000			③車両	280,000
		④建物	200,000			④建物	1,200,000
		⑥備品	65,000				
備 品				土 地			
①現金	200,000			②当座預金	630,000		
車 両				建 物			
③諸口	300,000			前期繰越	1,000,000	⑦諸口	1,000,000
				④諸口	1,400,000		
				⑤未払金	800,000		
未払金				建物減価償却累計額			
		⑤建物	800,000	⑦諸口	700,000	前期繰越	700,000
						⑧減価償却費	
							40,000
備品減価償却累計額				車両減価償却累計額			
		⑨減価償却費				⑩減価償却費	
			25,000				50,000
固定資産売却益				修繕費			
		⑦諸口	100,000	⑥現金	65,000		

減価償却費

⑧建物累計 40,000

⑨備品累計 25,000

⑩車両累計 50,000

建物累計：建物減価償却累計額      備品累計：備品減価償却累計額

車両累計：車両減価償却累計額

B)精算表作成

(i) 固定資産に関する勘定残高(①～⑦)を、残高試算表欄に記載します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
備品	200,000							
車両	300,000							
建物	2,200,000							
土地	630,000							
固定資産売却益		100,000						
修繕費	65,000							

(ii) 修正記入欄に⑧～⑩の仕訳を記入します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
備品	200,000							
車両	300,000							
建物	2,200,000							
土地	630,000							
固定資産売却益		100,000						
修繕費	65,000							
減価償却費			115,000					
建物減価償却累計額				40,000				
備品減価償却累計額				25,000				
車両減価償却累計額				50,000				

(iii) 資産・負債の各勘定は B/S 欄に、収益・費用の各勘定は P/L 欄に移動します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
備品	200,000						200,000	
車両	300,000						300,000	
建物	2,200,000						2,200,000	
土地	630,000						630,000	
固定資産売却益		100,000				100,000		
修繕費	65,000				65,000			
減価償却費			115,000		115,000			
建物減価償却				40,000				40,000
累計額								
備品減価償却累計額				25,000				25,000
車両減価償却累計額				50,000				50,000

## 第12章 タイム・トライアル

### 【解答】

- ① 期中に、現金で消耗品¥1,500を購入したが、期末になり¥200の残りがあることが判明した（購入時に、消耗品費勘定を用いて処理している）。

期中：（消耗品費） 1,500   （現金） 1,500

期末：（消耗品） 200   （消耗品費） 200

- ② 決算にあたり、利息の未収分¥3,600を計上した。

（未収利息） 3,600   （受取利息） 3,600

- ③ 決算にあたり、地代の未払分¥24,000を計上した。

（支払地代） 24,000   （未払地代） 24,000

- ④ 決算にあたり、家賃の前受分¥16,000を繰り延べた。

（受取家賃） 16,000   （前受家賃） 16,000

- ⑤ 決算にあたり、保険料の前払分¥12,000を繰り延べた。

（前払保険料） 12,000   （支払保険料） 12,000

### ズーム・アップ

#### A) 転記

消耗品費	消 耗 品
①現金    1,500	①消耗品    200
	①消耗品費    200
未収利息	未払地代
②受取利息    3,600	③支払地代    24,000
前払保険料	前受家賃
⑤支払保険料 12,000	④受取家賃    16,000

支払地代		受取利息	
当期発生額 45,000		当期発生額 15,000	
③未払地代 24,000		②未収利息 3,600	

  

支払保険料		受取家賃	
当期発生額 68,000	⑤ 前払保険料 12,000	④前受家賃 16,000	当期発生額 54,000

B) 精算表作成

(i) 収益と費用の各勘定の貸借差額（借方と貸方の差額）を、残高試算表に記入します。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取利息		15,000						
受取家賃		54,000						
支払地代	45,000							
支払保険料	68,000							
消耗品費	1,500							

(ii) 修正記入項目を修正記入欄に記載する。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取利息		15,000		3,600				
受取家賃		54,000	16,000					
支払地代	45,000		24,000					
支払保険料	68,000			12,000				
消耗品費	1,500			200				
未収利息			3,600					
前払保険料			12,000					
未払地代				24,000				
前受家賃				16,000				

(iii) 残高試算表欄の金額に修正記入欄の金額を加味した金額を、P/L 欄と B/S 欄に分けて記入する。

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
受取利息		15,000		3,600		18,600		
受取家賃		54,000	16,000			38,000		
支払地代	45,000		24,000		69,000			
支払保険料	68,000			12,000	56,000			
消耗品費	1,500			200	1,300			
未収利息			3,600				3,600	
前払保険料			12,000				12,000	
未払地代				24,000				24,000
前受家賃				16,000				16,000

もう一步前へ！

【解答】

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	86,000			14,000			72,000	
当座預金	124,000						124,000	
受取手形	30,000						30,000	
売掛金	210,000						210,000	
売買目的有価証券	15,000			4,000			11,000	
繰越商品	264,000		312,000	264,000			312,000	
建物	2,200,000						2,200,000	
備品	300,000						300,000	
支払手形		38,000						38,000
買掛金		294,000						294,000
借入金		500,000						500,000
貸倒引当金		3,000		9,000				12,000
建物減価償却累計額		1,210,000		55,000				1,265,000
備品減価償却累計額		200,000		50,000				250,000
資本金		800,000						800,000
売上		2,790,000				2,790,000		
受取家賃		30,000	6,000			24,000		
受取地代		4,000		8,400		12,400		
仕入	2,140,000		264,000	312,000	2,092,000			
給料	320,000				320,000			
水道光熱費	32,000		7,000		39,000			
支払保険料	36,000			18,000	18,000			
支払利息	15,000		7,500		22,500			
交通費	21,000		2,000		23,000			
消耗品費	76,000			25,000	51,000			
	5,869,000	5,869,000						
雑損			5,000		5,000			
有価証券評価損			4,000		4,000			
貸倒引当金繰入			9,000		9,000			
減価償却費			105,000		105,000			
前払保険料			18,000				18,000	
未収地代			8,400				8,400	
前受家賃				6,000				6,000
未払利息				7,500				7,500
消耗品			25,000				25,000	
当期純利益					137,900			137,900
			772,900	772,900	2,826,400	2,826,400	3,310,400	3,310,400

【解説】

- ① (現金過不足) 14,000 (現金) 14,000  
(水道光熱費) 7,000 (現金過不足) 14,000  
(交通費) 2,000  
(雑費) 5,000
- ② (仕入) 264,000 (繰越商品) 264,000  
(繰越商品) 312,000 (仕入) 312,000
- ③ (有価証券評価損) 4,000 (有価証券) 4,000
- ④ (貸倒引当金繰入) 9,000 (貸倒引当金) 9,000  
 $(30,000 + 210,000) \times 0.05 = 12,000$   
 $12,000 - 3,000 = 9,000$
- ⑤ (減価償却費) 105,000 (建物減価償却累計額) 55,000  
(備品減価償却累計額) 50,000  
建物 :  $2,200,000 \div 40 = 55,000$   
備品 :  $300,000 \div 6 = 50,000$
- ⑥ (消耗品) 25,000 (消耗品費) 25,000
- ⑦ (未収地代) 8,400 (受取地代) 8,400
- ⑧ (受取家賃) 6,000 (前受家賃) 6,000
- ⑨ (支払利息) 7,500 (未払利息) 7,500  
 $500,000 \times 0.06 \times 3/12 = 7,500$
- ⑩ (前払保険料) 18,000 (支払保険料) 18,000  
 $36,000 \times 6/12 = 18,000$

## 第13章 もう一步前へ！

大陸式決算法の決算振替仕訳と開始仕訳を、資産、負債および純資産の勘定に転記すると以下のようになります。

現 金	
900	200
300	100
1,200	300
1,200	決算残高 600
開始残高 600	1,200

売 掛 金	
1,200	決算残高 1,600
400	1,600
1,600	1,600
開始残高 1,600	1,600

繰 越 商 品	
100	100
200	決算残高 200
300	300
開始残高 200	300

買 掛 金	
決算残高 1,000	1,000
1,000	開始残高 1,000

資 本 金	
決算残高 1,400	1,000
300	損 益 400
300	300
開始残高 1,400	1,400

決 算 残 高	
買掛金 1,000	現 金 600
資本金 1,400	売掛金 1,600
2,400	繰越商品 200
2,400	2,400

## 補章 もう一步前へ!

図 キャッシュ・フローの推移 (2009年3月期~2013年3月期) (単位: 百万円)

